

伊豆の国市

IZUNOKUNI CITY

伊豆の国市は伊豆半島の北部、田方平野のほぼ中央部に位置しています。市の東側には箱根山系の山々が峰を連ね、西側には城山、葛城山といった山がそびえています。平野部には南北に狩野川が流れ、自然の豊かな恵を享受しています。

また、狩野川に沿うように国道136号と、伊豆箱根鉄道が走り、その周辺には市街地が形成されています。

東京からは100km圏内にあり、東海道新幹線や東名高速道路を使えば、東京までは2時間弱。沼津市や三島市という静岡東部の中心地にも近い、利便性に富んだ場所にあります。

伊豆の国市の歌 ー夢色の空ー

作詞 伊豆の国市歌制作委員会 作曲 荻久保 和明

一 夢ー 夢色の空
世界へ続く道
先人の思い 息づく
我らが生きるまち
歴史が光る
伊豆の国
わたしたちのまち

二 希望ー 希望の緑
狩野の川面に映え
湯の香漂う 大地は
我らが暮らすさと
笑顔あふれる
伊豆の国
わたしたちのさと

三 未来ー 未来へ翔ける
胸に抱く 大志
富士を仰ぎ
生きている喜び
ぼくらが創る夢
明日に輝け
伊豆の国
わたしたちのくに



伊豆の国市長
山下 正行

静岡県の東部、伊豆半島北部に位置する伊豆の国市は、豊かな自然と歴史が豊富なまちであり、日本史上、それぞれの時代を牽引してきた人物ゆかりの地です。源頼朝公は伊豆に配流となり、北条政子と出会い、共に新しい時代に向かって進みました。北条 5 代 100 年の礎を築いた北条早雲公は、韮山城を終生の居城とされました。江川坦庵公は江戸時代、すでに世界を視野に入れ学問を積み、大きな事績を残しました。

そして、平成 27 年 7 月、韮山反射炉が「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとして世界文化遺産に登録され、本市も「世界遺産のあるまち」となりました。

将来にわたり、この素晴らしい先人たちを手本とし、豊かな歴史や文化を生かすとともに、市民の皆様が夢と期待を抱くことができるまちづくりを着実に進めてまいります。



人口

(令和 4 年 4 月現在)

住民登録人口	47,544人	世帯
男:23,014人 女:24,530人		21,463

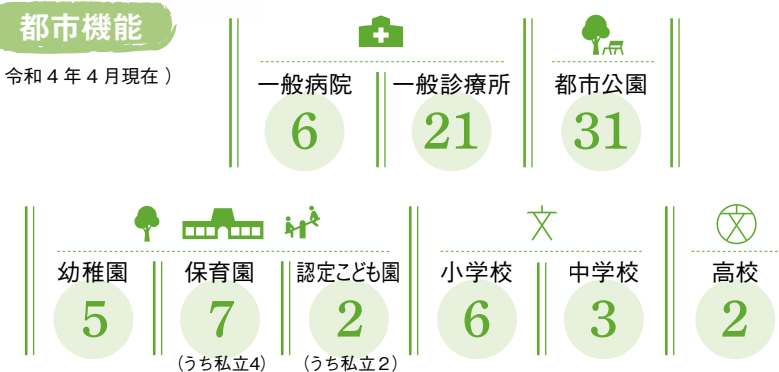
(住民基本台帳)

市議会

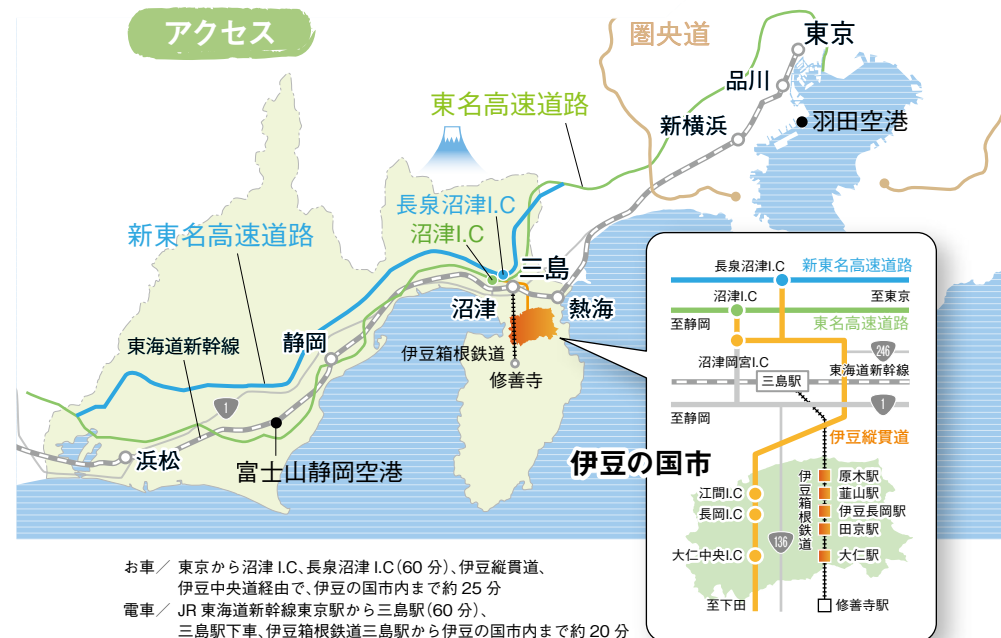
市議会の定数は17名で、『総務産業建設委員会』、『福祉文教環境委員会』の2常任委員会から構成されています。各々の議員はいずれかの委員会に所属し、所管する市の行政や事業に関連する調査・審議にあたっています。

都市機能

(令和 4 年 4 月現在)



アクセス



都市交流

京都府 長岡京市

平成18年11月11日：姉妹都市盟約締結／伊豆長岡の地名は、平安時代に京の都からこの地に流された宮人が、豊かな自然と地形を見て、「京の長岡によく似ている」と大変喜んだことに由来する、と伝えられています。両市は、スポーツや文化、イベントなどの機会をとらえ、交流を深めています。



モンゴル国 ウランバートル市 ソンギノハイルハン区

平成27年8月：友好都市交流覚書締結／平成26年7月にウランバートル市ソンギノハイルハン区長から、都市交流を求める親書が届きました。その後、お互いに派遣団による交流を重ね、友好都市としての交流を始めています。

